芦屋美容クリニック

ASHIYA BIYOU CLINIC ／ 調査レポート

2026年版

男性型脱毛症（AGA）・女性型脱毛症（FAGA）治療 利用実態調査

治療経験者316名への調査から見る、
治療の実態とクリニック選定の判断軸

調査主体	芦屋美容クリニック　AGA・FAGA治療研究チーム
調査方法	インターネットによるアンケート調査
調査期間	2026年7月1日 ～ 2026年7月31日
調査対象	AGA・FAGA治療の経験がある全国の男女
有効回答数	316件（男性241件／女性75件）
発行日	2026年8月30日

本調査について

AGA・FAGA治療は、効果を実感するまでに一定の期間を要し、その間は継続的な費用負担が発生します。そのため「どのクリニックを選ぶか」は、治療効果だけでなく、費用・受診形態・継続のしやすさを含めた総合的な判断が求められます。

本調査は、実際にAGA・FAGA治療を受けた経験のある全国の男女316名を対象に、**治療開始のきっかけ、治療前の不安、クリニックの選定基準、受診形態、治療内容、効果を実感するまでの期間、継続率と中断理由、月額費用**を横断的に調査したものです。これから治療を検討する方が、自身の条件に合ったクリニックを選ぶための判断材料となることを目的としています。

01

治療経験者のみを対象

スクリーニング調査で「AGA・FAGA治療を受けたことがある」と回答した方のみに絞り、検討段階の方は除外しています。

02

男女双方を対象

男性型脱毛症（AGA）だけでなく、女性型脱毛症（FAGA）の治療経験者75名を含み、男女差の比較が可能な設計としています。

03

継続・中断の両面を調査

継続中の方だけでなく、中断した方62名にも中断理由を確認し、治療を続けられなくなる要因を明らかにしています。

調査設計

項目	内容
調査名	AGA・FAGA治療 利用実態調査【2026年版】
調査主体	芦屋美容クリニック　AGA・FAGA治療研究チーム
調査方法	インターネットによるアンケート調査（調査会社のモニターパネルを利用）
調査期間	2026年7月1日 〜 2026年7月31日
調査対象	AGA・FAGA治療を受けた経験のある全国の20歳以上の男女
有効回答数	316件（男性241件／女性75件）
スクリーニング	「AGA・FAGA治療を受けたことがある」と回答した方のみを本調査に誘導
集計方法	欠損・重複回答を除外し、設問ごとの有効回答数を分母として算出

※本文中の割合は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%とならない場合があります。
※「複数回答」と記載のある設問は、回答者数を分母とした割合（合計は100%を超えます）。

主要な調査結果（サマリー）

本調査で得られた主要な結果は以下のとおりです。各項目の詳細は本文（P.4以降）に掲載しています。

80.4%
治療を継続中
中断は19.6%

77.5%
月額費用が1万円未満
最多は5千〜1万円未満

75.9%
オンライン診療を利用
併用を含む

83.9%
6ヶ月〜1年で効果実感
「やや」以上の合計

69.9%
選定基準の1位は「費用」
効果・実績は61.4%

61.4%
抜け毛減少を3ヶ月以内に実感
最も早く表れる変化

67.8%
治療全体に満足
不満は12.7%

7,800円
月額費用の中央値
平均は約8,900円

01　クリニック選定で最も重視されたのは**「治療費の安さ」（69.9%）**で、「効果・実績」（61.4%）を上回った。

02　治療前の不安は**「効果が出るか」（59.8%）と「費用が続くか」（56.0%）**が二大要因。

03　受診形態は**オンライン診療のみが67.7%**と主流で、対面のみは24.1%にとどまった。

04　オンラインを選んだ理由は**「通院の手間がない」（74.6%）**が突出。

05　効果実感は**治療6ヶ月を境に大きく伸び**、6ヶ月未満64.8%→6ヶ月〜1年83.9%。

06　最も早く実感される変化は**「抜け毛の減少」で61.4%が1〜3ヶ月以内**に実感。

07　中断者の中断理由は**「費用が高く続けられない」（61.3%）**が最多。

08　治療満足度は**「満足」計67.8%**。不満は12.7%だった。

09　経験者が挙げる助言の第1位は**「早めに始めた方がよい」（66.1%）**。

10　治療内容は**フィナステリド（69.3%）とミノキシジル内服（54.1%）**の併用が中心で、注入治療・植毛は1割前後。

11　受診形態によって選ばれるクリニックが大きく異なり、**オンラインは大手専業、対面は地域の皮膚科**に分かれた。

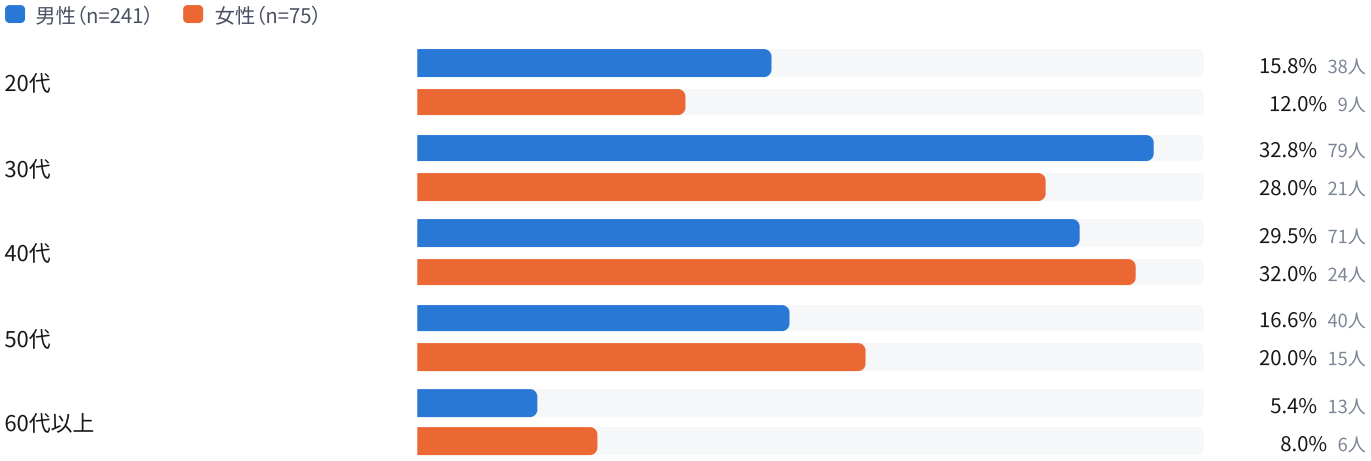
本調査を読む際の視点

本調査の結果は「費用」「期間」「受診形態」という3つの軸に集約されます。費用は選定理由でも中断理由でも第1位であり、効果実感は6ヶ月を境に大きく変化し、オンライン診療は治療前の不安の多くを解消する選択肢として機能していました。クリニックを比較する際は、月額表示の金額だけでなく、**6ヶ月継続した場合の総額**と**受診形態が自分の生活に合うか**の2点を確認することが有効です。

1. 回答者属性と治療開始時の状態

Q1 回答者の年代構成

単一回答／n=316（男性241・女性75）

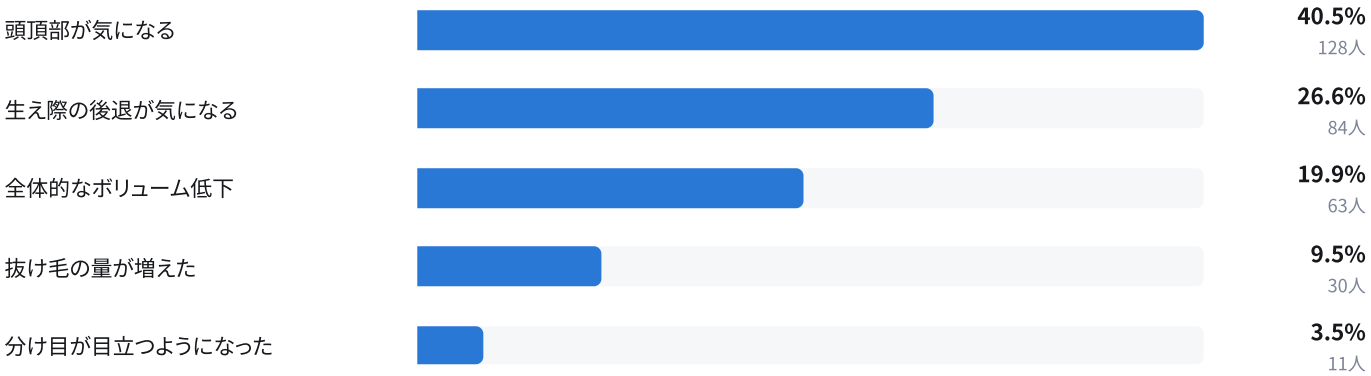


年代	男性	女性	全体	全体構成比
20代	38	9	47	14.9%
30代	79	21	100	31.6%
40代	71	24	95	30.1%
50代	40	15	55	17.4%
60代以上	13	6	19	6.0%
合計	**241**	**75**	**316**	**100.0%**

読み取り　男女とも30代・40代が中心層で、両世代の合計は全体の61.7%を占めた。女性は男性よりやや高年齢に寄る傾向が見られる。

Q2 治療を始めた時点で気になっていた症状

単一回答／n=316

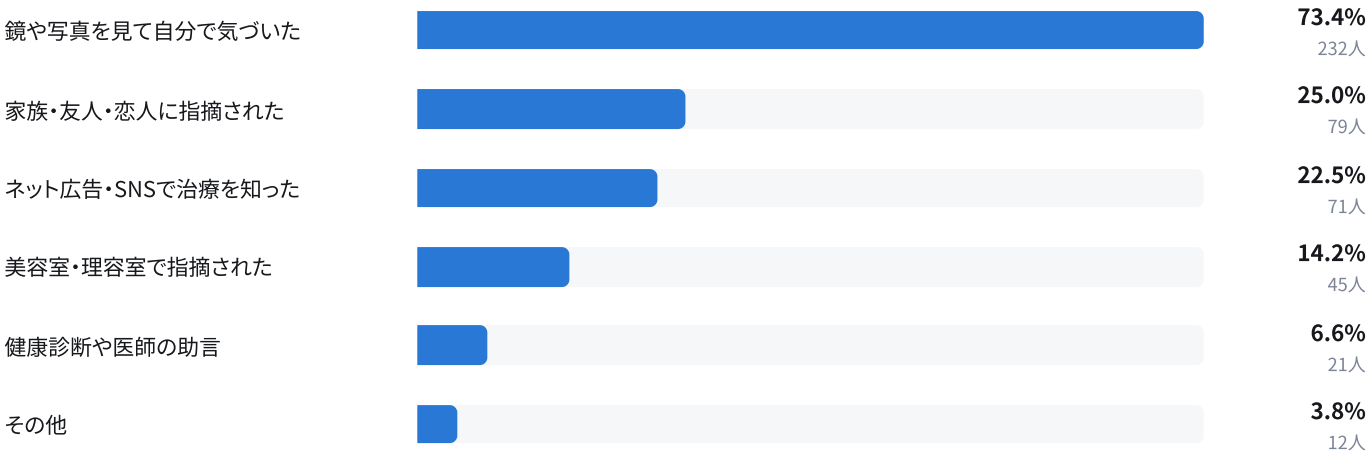


読み取り　「頭頂部」と「生え際」で全体の67.1%。一方、女性回答者では「全体的なボリューム低下」「分け目」の比率が高く、男女で自覚症状の出方が異なる。

2. 治療検討の動機と不安

Q3 治療を検討したきっかけ

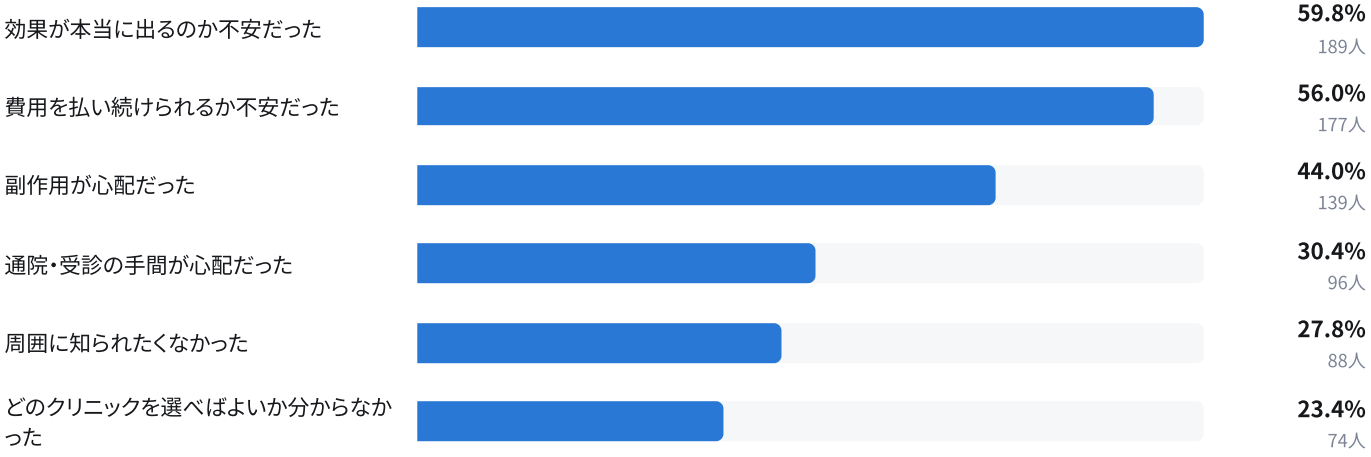
複数回答／n=316



読み取り　7割超が自分自身の気づきから治療を検討している。他者からの指摘（家族・友人／美容室）を合わせると39.2%で、外部からの気づきも一定の割合を占める。

Q4 治療を始める前に不安だったこと

複数回答／n=316



読み取り　「効果」と「費用」が二大不安。加えて「どこを選べばよいか分からない」が23.4%あり、比較検討時の情報不足が受診の障壁になっていることが示唆される。

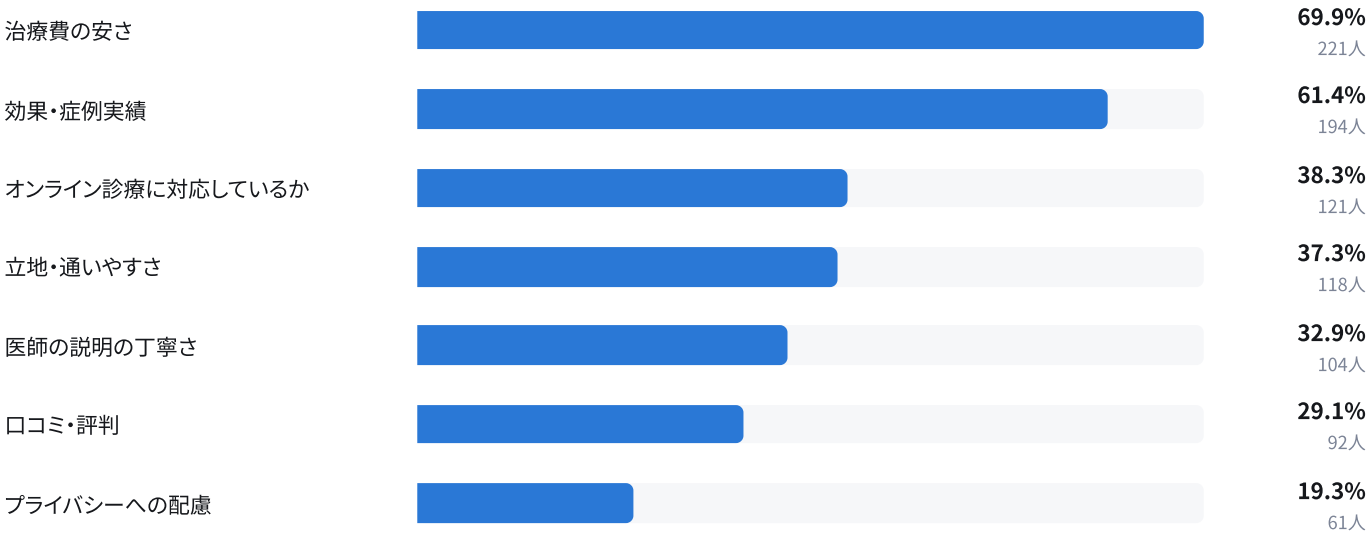
本調査からの示唆

治療前の不安の上位3項目（効果・費用・副作用）は、いずれも受診前のカウンセリングで解消できる論点である。無料カウンセリングの有無、費用の総額提示、副作用時の対応方針が明示されているかは、クリニック比較の実用的なチェックポイントとなる。

3. クリニック選定と診療形態

Q5 クリニックを選ぶ際に重視した点

複数回答／n=316



読み取り　「治療費の安さ」が「効果・実績」を上回って第1位。長期継続が前提となる治療であるため、月額費用が選定の第一関門になっていると考えられる。

Q6 利用した診療形態

単一回答／n=316

オンライン診療のみ **67.7%** 214人　対面診療のみ **24.1%** 76人　オンラインと対面の併用 **8.2%** 26人

読み取り　オンライン診療の利用者は併用を含めて75.9%（240名）。対面のみは24.1%にとどまり、AGA・FAGA治療におけるオンライン診療の定着がうかがえる。

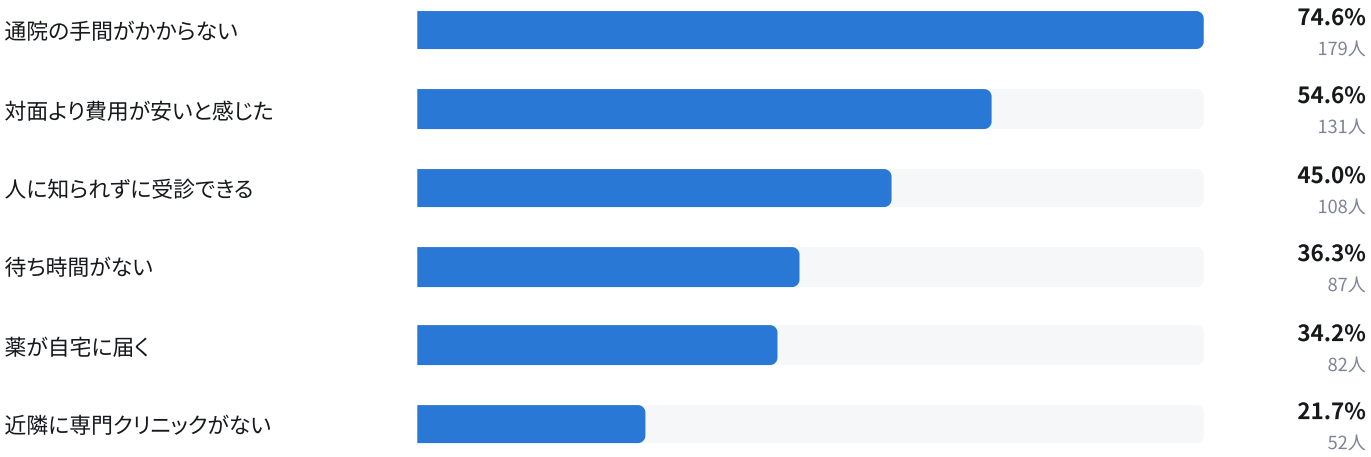
本調査からの示唆

「治療費の安さ」と「オンライン診療への対応」を合わせて重視する回答者が多く、この2条件を同時に満たすオンライン特化型クリニックに需要が集中している。一方で「医師の説明の丁寧さ」（32.9%）や「プライバシーへの配慮」（19.3%）は、価格が横並びになった場合の決め手として機能している。

4. オンライン診療の選択理由と治療内容

Q6-2 オンライン診療を選んだ理由

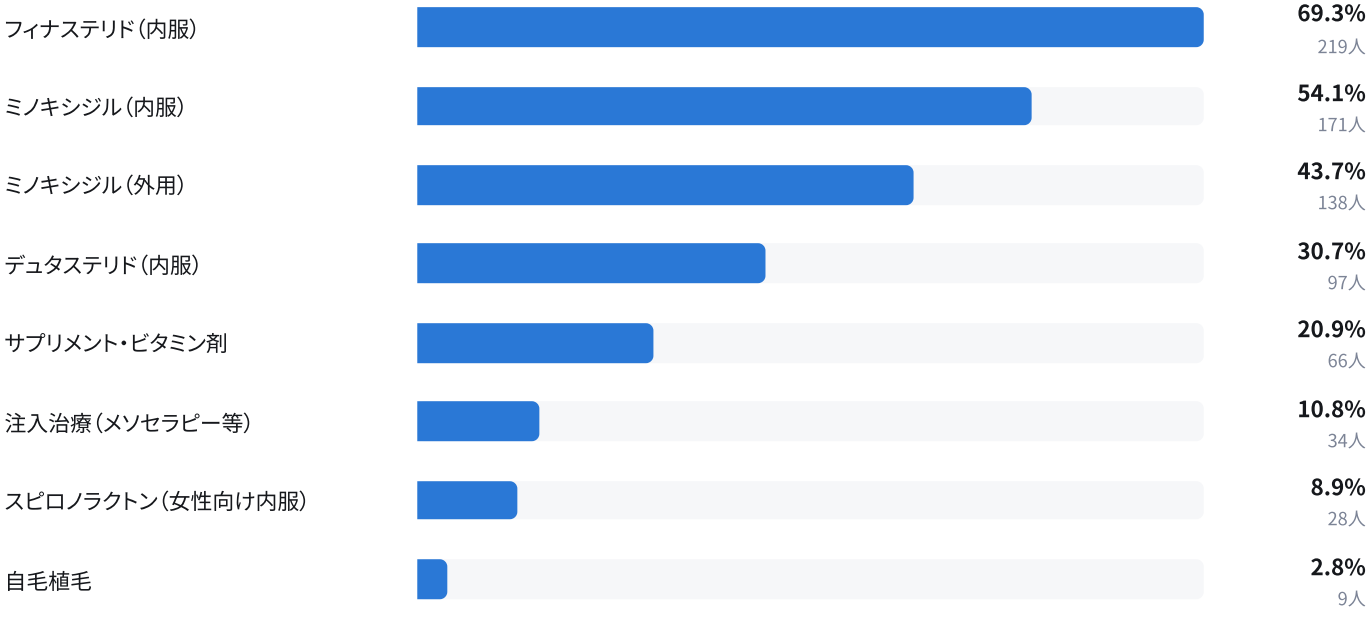
複数回答／n=240（オンラインのみ＋併用）



読み取り　利便性（通院・待ち時間）に加え、「費用が安い」「人に知られない」が上位。Q4で挙がった不安の多くがオンライン診療によって解消されている構図が読み取れる。

Q7 受けている（受けていた）治療の内容

複数回答／n=316

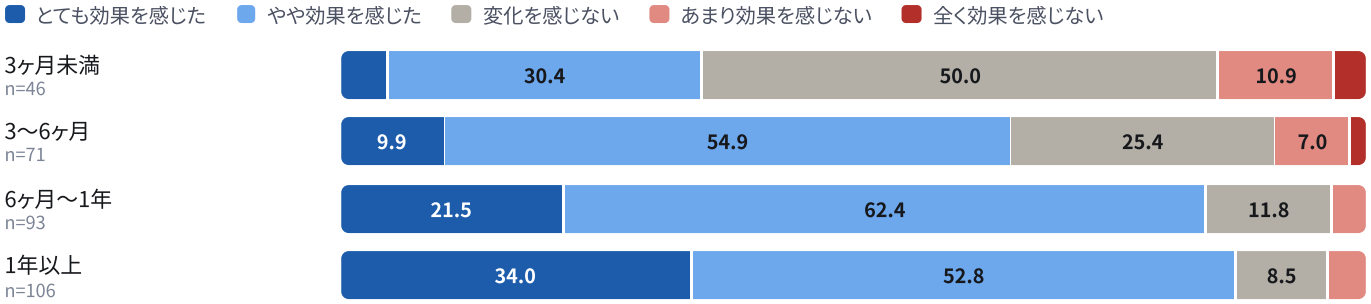


読み取り　内服薬による治療が中心。フィナステリドとミノキシジル内服の併用が最も一般的なパターンで、注入治療や植毛といった高単価の施術は1割前後にとどまった。

5. 効果の実感（1）治療期間との関係

Q8 治療期間別にみた効果の実感度

単一回答／n=316（治療期間別クロス集計）



治療期間	n	効果を感じた計	変化なし	効果を感じない計
3ヶ月未満	46	34.8%	50.0%	15.2%
3〜6ヶ月	71	64.8%	25.4%	9.9%
6ヶ月〜1年	93	**83.9%**	11.8%	4.3%
1年以上	106	**86.8%**	8.5%	4.7%

読み取り　治療期間が6ヶ月を超えると「効果を感じた」が8割を超える。3ヶ月未満では半数が「変化を感じない」と回答しており、効果判定には最低でも6ヶ月の継続が必要であることが示された。

参考：回答者の治療期間の分布（n=316）

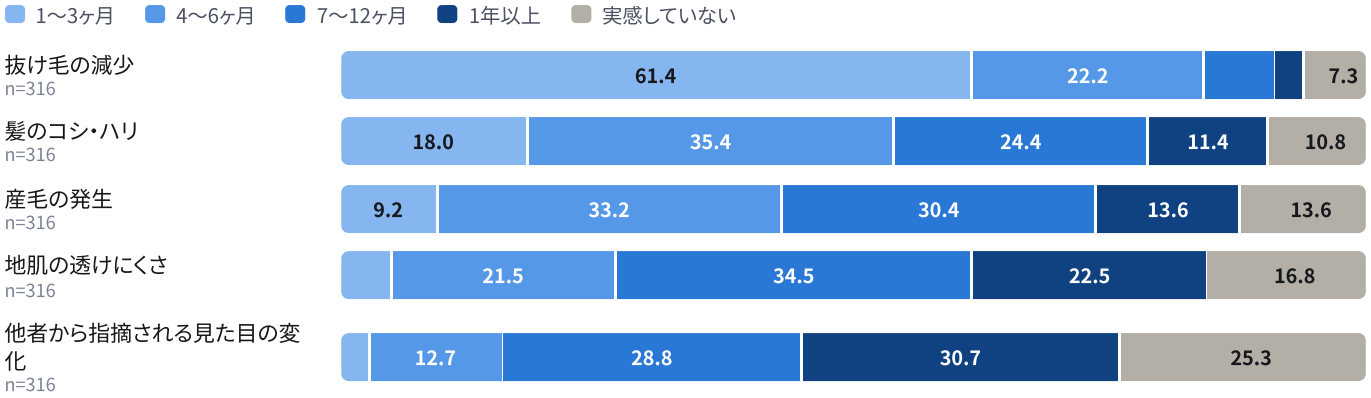
本調査からの示唆

「3ヶ月で効果がない」という理由での中断は、効果判定として時期尚早である可能性が高い。クリニック選定の段階で、6ヶ月〜1年継続した場合の総額を試算しておくことが、途中離脱を避けるうえで有効と考えられる。

6. 効果の実感（2）変化が表れる順序

Q9 効果の種類別にみた「実感した時期」

単一回答／n=316（効果の種類別）



読み取り　変化には明確な順序がある。抜け毛の減少は6割超が3ヶ月以内に実感する一方、「他者から指摘される見た目の変化」は1年以上を要する回答が30.7%で最多。短期で判断できる指標と、長期でしか判断できない指標を分けて捉える必要がある。

効果の種類	1〜3ヶ月	4〜6ヶ月	7〜12ヶ月	1年以上	実感していない
抜け毛の減少	**61.4%**	22.2%	6.6%	2.5%	7.3%
髪のコシ・ハリ	18.0%	**35.4%**	24.4%	11.4%	10.8%
産毛の発生	9.2%	**33.2%**	30.4%	13.6%	13.6%
地肌の透けにくさ	4.7%	21.5%	**34.5%**	22.5%	16.8%
他者から指摘される見た目の変化	2.5%	12.7%	28.8%	**30.7%**	25.3%

本調査からの示唆

治療初期のモニタリング指標としては「抜け毛の量」が現実的である。見た目の変化を基準に効果を判断すると、多くの人が1年近く手応えを得られないまま継続することになり、中断リスクが高まる。

7. 継続率・中断理由・費用

Q10 現在の治療の継続状況

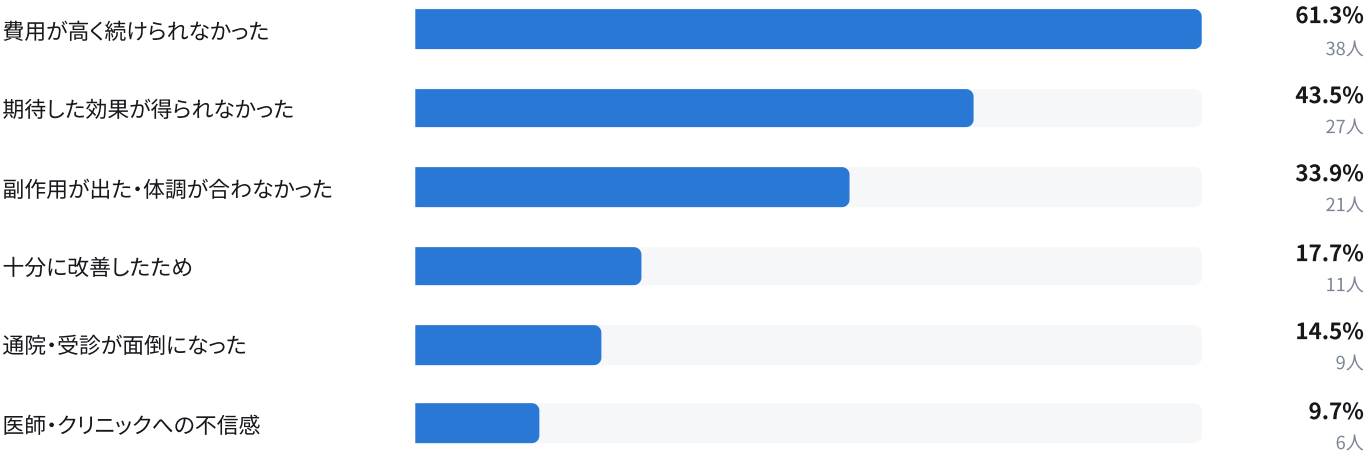
単一回答／n=316

現在も継続している **80.4%** 254人　中断した・やめた **19.6%** 62人

読み取り 8割が治療を継続。オンライン診療利用者に限ると継続率は82.9%とやや高い。

Q11 治療を中断した理由

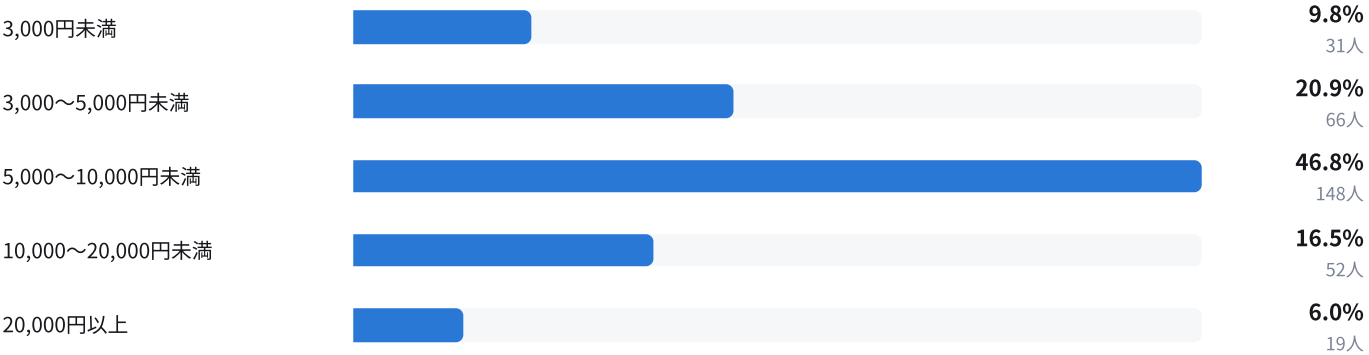
複数回答／n=62（中断した人のみ）



読み取り 中断理由の最多は費用。Q5で「治療費の安さ」が選定基準の第1位だったことと整合しており、費用は選定時と継続時の両局面で最大の論点となっている。

Q12 1ヶ月あたりの治療費

単一回答／n=316



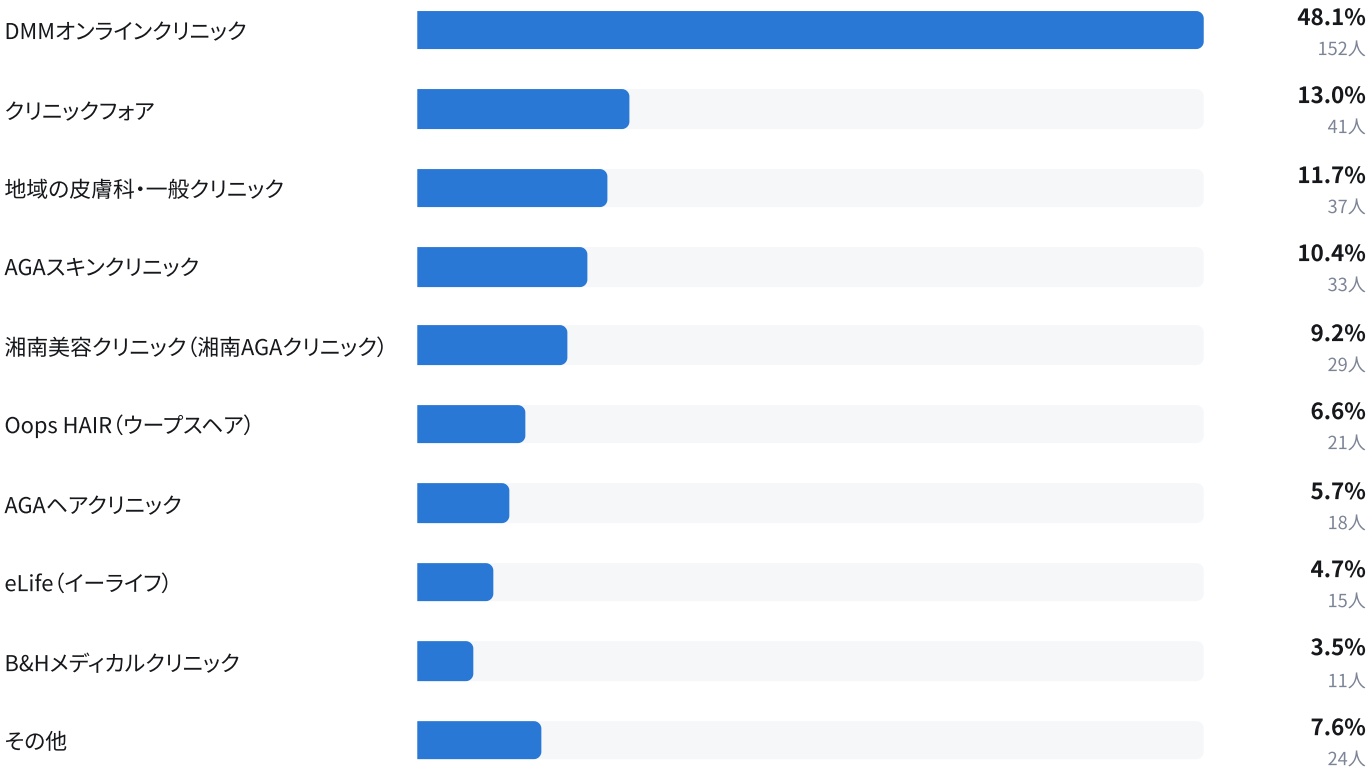
※中央値は約7,800円、平均は約8,900円（サンプルデータ）。

読み取り 5,000〜10,000円未満が最多で46.8%。1万円未満が全体の77.5%を占め、この価格帯が実質的な相場となっている。

8. 利用されているクリニック

Q13 実際に利用したクリニック（全体）

複数回答／n=316

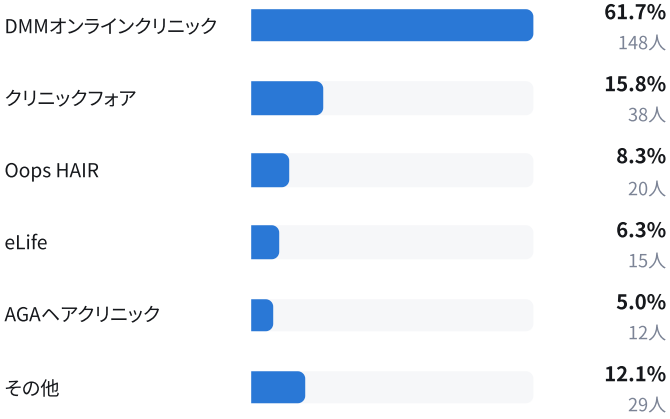


読み取り　オンライン診療の利用率の高さを反映し、オンライン特化型のクリニックが上位を占めた。

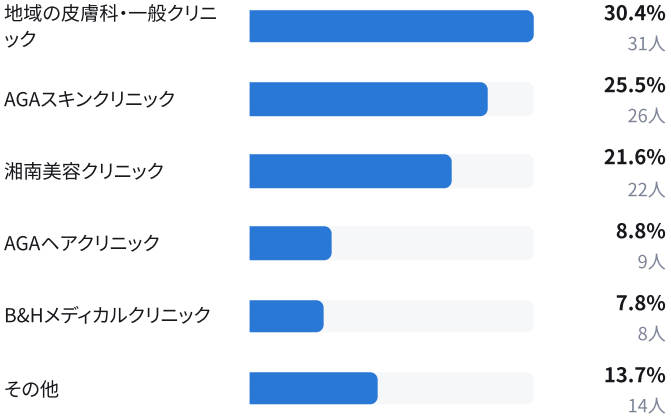
Q13-2 受診形態別にみた利用クリニック

複数回答／オンライン n=240・対面 n=102

オンライン診療の利用者（n=240）



対面診療の利用者（n=102）



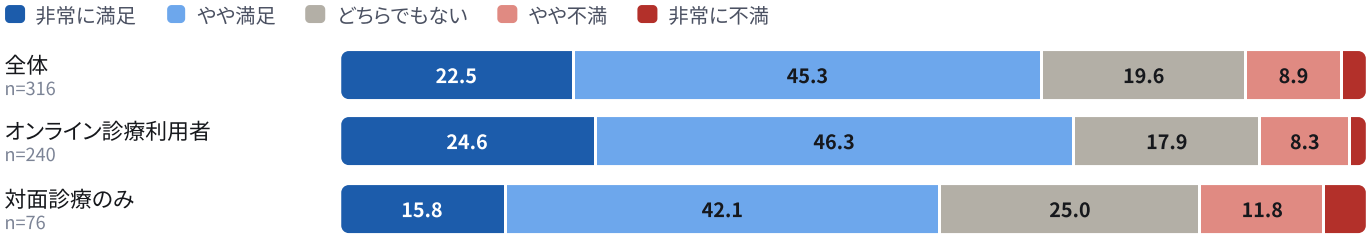
※併用回答者は両方に計上しているため、合計は回答者数と一致しません。

読み取り　オンラインでは大手オンライン専業に集中する一方、対面では地域の皮膚科と大手専門クリニックに分散する。受診形態によって選ばれるクリニックの構造が大きく異なる。

9. 満足度と経験者からの助言

Q14 受けた治療全体への満足度

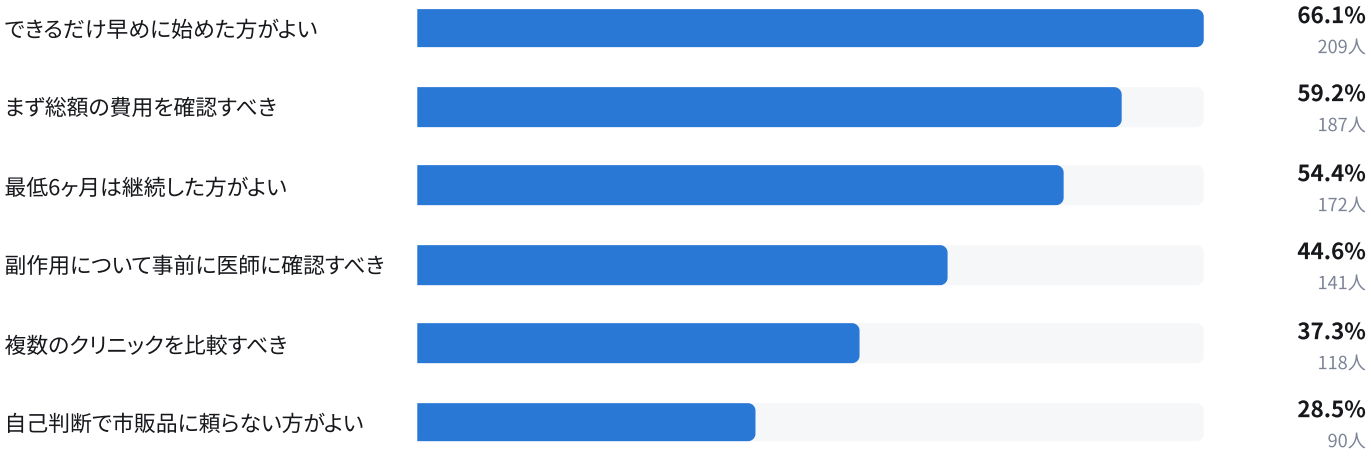
単一回答／n=316



読み取り　満足（「非常に」＋「やや」）は全体で67.8%。オンライン診療利用者では70.9%と、対面のみ（57.9%）を13.0ポイント上回った。

Q15 これから治療を始める人へ伝えたいこと

複数回答／n=316



読み取り　経験者の助言は「早期開始」「費用の事前確認」「6ヶ月の継続」に集約される。いずれも本調査の他設問（効果実感の時期・中断理由）と整合する内容となっている。

本調査からの示唆

満足度の差は治療内容そのものよりも「継続できたかどうか」に強く連動していた。早期に開始し、費用を無理のない水準に設定し、6ヶ月の継続を前提に計画することが、結果として満足度の高い治療につながっている。

総括

01

費用は「選ぶ理由」であり「やめる理由」でもある

クリニック選定で最も重視されたのは治療費（69.9%）であり、中断理由の第1位も費用（61.3%）だった。月額表示の安さだけでなく、6ヶ月〜1年継続した場合の総額と、薬剤変更時の価格まで含めて比較することが重要となる。

02

効果判定の目安は6ヶ月

「効果を感じた」割合は3〜6ヶ月で64.8%、6ヶ月〜1年で83.9%へと大きく伸びる。3ヶ月未満では半数が「変化を感じない」と回答しており、短期間での効果判定は実態に合わない。

03

変化は「抜け毛→コシ・ハリ→見た目」の順に表れる

抜け毛の減少は61.4%が1〜3ヶ月以内に実感する一方、他者が気づく見た目の変化は1年以上を要する回答が最多だった。初期は抜け毛の量を指標にすることで、継続の手応えを得やすい。

04

オンライン診療が主流となり、満足度も高い

併用を含めたオンライン診療の利用率は75.9%。満足度もオンライン利用者が70.9%と、対面のみ（57.9%）を上回った。通院負担・待ち時間・周囲への露出といった治療前の不安が、受診形態の選択によって解消されている。

05

男女で自覚症状も治療内容も異なる

男性は「頭頂部」「生え際」の局所的な変化を挙げる比率が高く、女性は「全体的なボリューム低下」「分け目」が中心だった。女性回答者ではスピロノラクトンなど女性向け内服の利用も見られ、FAGAはAGAとは別の治療設計が必要となる。

06

比較検討時に確認すべき4項目

本調査の結果から、比較時のチェックポイントは次の4点に整理できる。①6ヶ月継続時の総額　②オンライン／対面の対応状況　③副作用が出た場合の対応方針　④薬剤変更時の追加費用。いずれも受診前のカウンセリングで確認可能な項目である。

おわりに

本調査を通じて明らかになったのは、AGA・FAGA治療の成否が「医学的な効果」だけでなく「無理なく継続できる条件を選べたかどうか」に大きく左右されるという点です。治療を検討される方は、価格・受診形態・サポート体制を総合的に比較したうえで、ご自身の生活に合ったクリニックを選択されることをおすすめします。

本調査データの活用について

本レポートは、AGA・FAGA治療を検討している方への情報提供、および報道・研究目的での利用を想定して公開しています。設問単位のクロス集計データ（性別・年代別など）についても、お問い合わせいただければ個別にご提供が可能です。

本調査結果の引用について

本調査結果は、出典の明記を条件に自由に引用いただけます。引用の際は、以下の表記とリンクの掲載をお願いいたします。

出典：AGA・FAGA治療 利用実態調査【2026年版】｜芦屋美容クリニック
https://ashiya-biyou.com/

※調査結果の一部のみを抜粋し、本調査の趣旨と異なる文脈で使用することはご遠慮ください。
※数値の改変を伴う引用、および出典を明記しない転載はお断りしております。

本調査の制約

- インターネット調査のため、回答者はオンラインでの情報接触に比較的積極的な層に偏る可能性があります。
- 治療効果に関する設問は回答者本人の主観的評価であり、医学的な診断・計測に基づくものではありません。
- 女性回答者は75名であり、男女差に関する分析は参考値としてご覧ください。
- 利用クリニックに関する設問は、回答者の記憶に基づく自己申告であり、各院の実際のシェアを示すものではありません。

監修・発行

項目	内容
監修	芦屋美容クリニック　小西 医師
発行	芦屋美容クリニック　AGA・FAGA治療研究チーム
発行日	2026年8月30日
公式サイト	https://ashiya-biyou.com/
お問い合わせ	本調査に関するご質問・データのご提供依頼は公式サイトのお問い合わせフォームより承ります。

本レポートに記載された内容は調査時点のものであり、個々の治療効果を保証するものではありません。治療の可否および内容については、必ず医師の診察を受けたうえでご判断ください。